

職場参加ニュース

障害のある人とない人が共に生きる職場・地域を



共に働く職場—調整・配慮・支援の現在 共に働く街を創るつどい2014(一部変更)

14日が総選挙の投開票日になり八王子市古川課長が選挙対応でおいでいただけなくなりましたので、大まかな枠組みは引き継ぎつつ、パネリスト等を急遽変更いたしました。

障害者雇用促進法が改正され、差別禁止、合理的配慮規定が盛り込まれました。ここで念頭に置くべきなのは、ずっと前からあちこちの職場で状況に迫られて、こうした課題への具体的対応が重ねられてきたのだということ。

それらの事例も踏まえつつ、「働く」から遠ざけられてきたすべての人々が共に働ける地域づくりを進めるため、現在どう取り組むべきか考えます。

事業所から 尾谷英一さん (株)ニューオタニ社長、高橋一将さん 公益財団法人埼玉県公園緑地協会技術部園地課主査

働く障害者から : 松山美幸さん 企業で働いてきた聴覚障害者

支援者から : 沖山稚子さん 越谷市障害者就労支援センター支援員、松尾晃史さん 越谷市障害者就労支援センター所長

コーディネーター : 朝日雅也さん 埼玉県立大学教授

コメンテーター : 埼玉県、越谷市 (依頼中)

日時 : 2014年12月14日(日) 13:00~16:30

会場 : 越谷市中央市民会館5F 第4~6会議室 (越谷市役所向かい)

会費 : 会員 500円、会員外 600円 (資料代含む)

手話通訳 (依頼中)

主催 : NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 (代表理事 鈴木 操)

〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル101 職場参加ビューロー世一緒内

後援 : 越谷市 (決定)、春日部市 (依頼中)

終了後希望者による懇親会を予定しています (実費)

申込・問合せ : 世一緒 (よいしょ) TEL&FAX 048-964-1819 メール : shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

職場・地域ひろがり つうしん



ピア介護人養成研修全5回を実施 ケアシステムわら細工と提携

職場参加ビューロー世一緒において、9月3日～10月15日にかけて、上記養成研修を実施。就労準備中の障害者他が参加した。地元市で実施されている県単及び市単の介護人派遣制度の介護人として必要な知識、体験、そして関係性を身につけるのが目的。

介護人にはヘルパーのような資格はいらず、特定の全身性障害者や知的障害者に認められ、市に推薦してもらう。実際の介助も障害者本人からの依頼で介護人が了承すればOK。プロのヘルパーもできない介助を、〇〇さんのことなら△△さんがバッチリという感じ。だから障害の有無は関わりなく…というより、障害者仲間だからこそ成り立つ介助もあるはずと、今回の養成研修となった。ケアシステムわら細工の「特派員事業」により、この事業を利用する障害者たちが講師に。



越谷水辺の市始まる

市役所脇の葛西用水沿いで

越谷市役所脇の葛西用水沿いに設置されたウッドデッキで「越谷水辺の市」が始まった。毎月第2火曜に開かれ、越谷にぎわいの会が主催。出店者自身が運営に参加し一緒に市を盛り上げて行こうという趣旨で、市民団体も個人も町のお店や生産者の参加も可能。当会も越谷にぎわいの会に参加している。写真は、9月19日のオープンイベント。この日は世一緒も出店した。月例の市は10月は強風のため中止し、11月は11日に開かれ、10数店が参加した。



越谷市民まつりに出店

ジオラマから離れない子ども達

10月26日開かれた越谷市民まつりは、例年を上回る大盛況。当会では野菜、食器、服、ぬいぐるみ、クッキー（千草園、野の花の品）、飲物を販売したが、飛ぶような売れ行き。自称「片麻痺のサラリーマン」北澤さんが高齢者等との共同作業で作ったジオラマを展示し、子どもたちを吸い寄せた。

6年前市民祭りへ始めて出店した時は、実行委員会内で「車いすでは狭くて動けない」、「事故があったら」など危惧する声があったが、いまや自然な風景として溶け込んでいることがうれしい。



越谷市共同受注システムを検討中

市内障害者施設等による検討会

越谷市では障害者施設等への優先調達法の施行などを受けて、今年度市共同受注システム検討会を開催している。事務局は市が務めるが、会議は参加した市内の障害者施設等の主体的な運営に任されている。

これまでに4回開催されてきた。第2回で市から2年半前に視察した戸田市と八王子市などの先進例の報告があった。

その後、9月に参加施設等の有志と市からも参加して、戸田市のリサイクルフラワーセンター（写真）を見学し、同市共同受注センターこるぼの聴き取りを行った。第3回は、市内施設等へのアンケート結果、先進例から学ぶこと、共同受注システムの組織案、市の関与のありかたの4点に関し報告し合った。第4回は、それらを受けて論点整理をした。

第5回は12月1日に予定されている。共に働く街づくりへ向けて、重要なステップとなりうる取組み。より多くの施設等の参加を期待したい。

共に働くまちをつくるつどい2014 開催要項

1. 趣 旨

「つどい」が始まった15年前と比べ、障害のある人々の教育、雇用、福祉の制度は格段に充実しました。しかし、支援の拡充と引き換えに、人々が障害の有無、種別、程度により分け隔てられる状況が深まってきました。障害のある人といえ、特別な場で専門家のサービスを受ける存在だという見方がひろまってきました。職場でも地域でも、障害のある人々とのつきあい方がわからなくなっています。

こうした状況の中で、障害者雇用促進法が改正され、差別禁止、合理的配慮規定が盛り込まれました。ただ、ここで念頭に置くべきなのは、ずっと前からあちこちの職場で状況に迫られて、こうした課題への具体的対応が重ねられてきたのだということです。

それらの実績も踏まえつつ、「働く」から遠ざけられてきたすべての人々が共に働ける地域づくりを進めるため、現在どう取り組むべきか考えます。

そのために、今年の「つどい」では、事業所、本人、支援者など、さまざまな立場から、それぞれの体験や知見を提起して頂き、会場の方々と一緒に考えたいと思います。

なお、

2. 日 時、会 場、参加費他

越谷市中央市民会館5階 第4～6会議室

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目1番1号 電話：048-966-6622

3. 内 容（パネルディスカッション）

事業所から：尾谷英一さん（株）ニューオタニ社長
高橋一将さん 公益財団法人埼玉県公園緑地協会技術部園地課主査
働く障害者から：松山美幸さん 企業で働いてきた聴覚障害者
支援者から：沖山稚子さん 越谷市障害者就労支援センター支援員
松尾晃史さん 越谷市障害者就労支援センター所長
コーディネーター：朝日雅也さん 埼玉県立大学教授
コメンテーター：埼玉県、越谷市（依頼中）

4. 呼びかけ

障害のある人々を雇用や仕事発注に関心のある企業や公的機関の方々、もちろん、障害者・家族、支援施設・機関にとっても大いに参考になるはずです。そして暮らしやすい街を求める市民のみなさんも、どうぞご参加ください。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会（代表・鈴木 操）

6. 後 援：越谷市（決定）、春日部市（予定）

7. 問い合わせ・連絡先：〒343-0023 越谷市東越谷1-1-7 職場参加ビューロー世一緒内
048-964-1819（fax 共） shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

元スタッフ、いまの仕事

浅井 武夫

昨年三月から春日部市豊野工業団地にある(株)ニューオタニに入社して一年半になりました。そして、仕事の内よりはリーガルさんの本底を作る作業です。それで毎日、午前8時30分から午後3時まで本底の底面に色をつける、ふきつけとカカトのソールにのりをつけるのと、キカイをつかって本底をける作業を毎日しております。

また仕事でわからないことがあつたら尾谷社長に聞きながらがんばって仕事しております。毎日エプロンがよごれます、夏は工場内あついてもあせをかきながらみんなして仕事をしております。

そして、会社のかえりに毎日世一緒へ立ち寄りながら家にかえりまします。これからはがんばって仕事がついてもできるようながんばりまします、これからもよろしくおねがいします。

世一緒になんのために来てるか

富樫 千亜紀

私はこれからは社会復帰に向けて世一緒に週一度来てグループワークのお仕事に来て活動します。今の状況では、まだまだ働けないし、こ



世一緒スタッフは主に就労支援センター利用者で、ピアサポート(仲間同士の支援)を希望した人です。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポート実習)や仕事発見ミッション(事業所訪問)、グループワーク等を希望により行っています。今回の筆者はみな越谷市民ですが、他市の人も参加できます。

の世の中だとあんまり良くないと思

います。今後自分は、就職活動にはまだ早いと思います。家庭の事情と順天堂越谷病院の医師や看護師やワーカーさんや職員は何もいわない。世一緒は人間関係も大事だけど前の気持ちと今の気持ちは変わらない。病気のお薬は今は四週間分出されていますが、何名かの仲間とお話をしています。

世一緒では(グループワーク)の仕事でミッションのローソンの陳列作業並びかえ作業は楽しくやらせてもらい、楽しかったです。世一緒という所は、活動の拠点であったりもするので、みんなとグループワークのお仕事は、もう、八年前からここでやって電話当番スタッフは自動的にいいほうだと思います。これからがんばりたい。世一緒で職場参加を語る会、ピアサポート研究会、ミッションなどその他のかつば販売も売り上げの一万円までいかず何とか頑張っています。世一緒は就労の場でもあるので、又活動する場でもあるのでこれから社会復帰の為頑張

つていきたいというのが今の現状です。これから何をどうしたいか自分で決めていないけど何かをさがしていきたくいです。自分は電話当番をやっているけど、だいたい慣れてきました。いろいろは仕事をやった社会に役立つちゃんとした仕事をしたいです。

今の生活について、

今は、父と母と私の三人で生活しています。現在三十七才、弟は二十五才の時今の奥さんと結婚し、子供一人出産し、又一人作り又一人女の子を出産しました。妹は、去年の三月に結婚。ポラスグループの営業マンの結婚でできちゃった結婚しました。今は生活が前より変わり、親も仕事で忙しくてなかなか家には帰らない日もあります。環境が大分変わってきました。 おわり

今やっている介助のこと

新井 里佳

今は私は絵日記の旅に(毎週火曜日)参加をしています。佐藤良子さんの介助をやっています。良子さんの介助では、いっしょに電車にのっています。やつぱりとちゅうでいねむりをしてしまうのはいけないと思っています。電車のるときやおおりるときは、ころばないように気をつけています。

いつもお昼食べさせるときはぼろぼろこぼさないようにきをつけています。とちゅうでお茶を飲ませたりしています。いつもトイレにいくときはおしめをおしっこしてないかどうかとりかえています。袋にいれてゴミ箱にふてています。なれるまで

はけっこう大変なこともありまし

た。良子さんとはいつもいっしょにお昼のメニューをきめています。克己さんの買い物もいつもいっています。紙に書いてあるものを選んでかいます。買い物もなれてきたと思っています。

今私は友野さんの介助もやっています。夜七時からやっています。入浴は頭、顔、体を洗っています。入浴はだんだんやっていますうちに洗えるようになりました。食事の用意はいつもお皿にあげて温めています。コーヒをいれて、洗濯をやっていきます。洗濯はほしたりだんだんできるようになっていると思います。

友野さんにいつも言われていることは早くできるようなことだといひすねということ。だから早くおわるようがんばっています。歯みがきはかならずやります。二人のときと一人のときとあります。二人のときはぶんとんして二人で話あつていつもやっています。

介助料金表をつけて、感想をかいています。私は介助をやっている、全身体がやっているのでいいと思っています。 これからもまだがんばりたいと思っています。



NPO法人障害者の職場参加をすすめる会